

科目名	看護倫理			ナンバリング	INE251	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	前期前半	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	久米美代子	担当教員					

授業の概要	看護倫理に関する基本的概念について理解するとともに、看護実践で直面する倫理的対立の事象を整理・分析し、意思決定する過程を学修する。看護職としての責任や自律性に関する考察を通し、看護の専門性と倫理的課題について理解を深めるとともに、専門職としての倫理的態度を身につける。ここでは、生命倫理の原則、看護の対象となる人間の権利、看護実践における倫理的概念、看護実践の場で直面する倫理的ジレンマについて学ぶ。						
到達目標	1. 生命倫理誕生の歴史的背景と医療倫理の原則について理解し説明できる。 2. 看護師の倫理綱領について理解することができ、看護倫理上の重要なテーマが何かを説明することができる。 3. 看護師の責務を理解し説明することができる。 4. インフォームド・コンセントと看護師の役割を理解し説明することができる。 5. 倫理的問題を分析することを理解し自分の意見を述べるすることができる。 6. 看護における倫理的責務と姿勢を理解し、倫理的課題を自覚し問題解決に向けた行動力がおこる。						
学習のアドバイス （勉強方法、履修に必要な予備知識など）	講義での資料や課題は理解しやすく整理し、説明できるようにしておく。看護倫理に関する事例や関連本を読む。						
ディプロマポリシーとの関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
		2. EBN(Evidence Based Nursing:根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
	○	3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
		4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	○	5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 生命倫理誕生の歴史的背景と医療倫理の原則について理解できる。 2. 看護師の倫理綱領について理解することができ、倫理上の重要なテーマが何か分かる。 3. 看護師の責務を理解することができる。 4. インフォームドコンセントと看護師の役割が理解できる。 5. 倫理的問題を分析することを理解できる。 6. 看護における倫理的責務と姿勢を理解し、倫理的課題を自覚し問題解決の必要性が分かる。	1. 生命倫理誕生の歴史的背景と医療倫理の原則について理解し説明できる。 2. 看護師の倫理綱領について理解することができ、倫理上の重要なテーマが何かを説明することができる。 3. 看護師の責務を理解し説明することができる。 4. インフォームドコンセントと看護師の役割が理解し説明することができる。 5. 倫理的問題を分析することを理解し自分の意見を述べるすることができる。 6. 看護における倫理的責務と姿勢を理解し、倫理的課題を自覚し問題解決の必要性が分かる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					60%
小テスト・授業内レポート	○						20%
宿題・授業外レポート	○	○	○				20%
授業態度・授業への参加			○	○			加点はしないが減点と なることがある

課題、評価のフィードバック	試験の答案用紙や提出したレポートは、学生から要請があった場合にはいつでも開示できるようにする。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	ガイダンス・看護倫理	授業のねらい・学び方、看護倫理の導入	
	第2回	生命倫理・医療倫理	倫理・道徳・法/生と死の倫理	
	第3回	看護倫理	なぜ倫理について学ぶのか/現代の医療・看護と倫理	
	第4回	医療専門職の倫理規定	専門職と倫理/医師の取り組み/看護職の取り組み	
	第5回	インフォームド・コンセントと看護師の役割	インフォームド・コンセントと看護師の役割	
	第6回	看護の場における倫理的・ジレンマ事例分析	看護における倫理問題を分析し、自分の意見を述べる	
	第7回	看護の場における倫理的・ジレンマ事例分析	看護における倫理問題を分析し、自分の意見を述べる	
	第8回	職業倫理としての看護倫理試験	看護における倫理的責務と姿勢	
	第9回			
	第10回			
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
	試験	8回目の最後に試験を行う。		
授業の進め方		講義とグループワーク		
授業外学習の指示		実習などの経験から、倫理的ジレンマを感じた場面、道徳的苦悩を感じた場面をあげ、どのように解決すればいいのかを自己学習する。 （授業外学習時間： 毎週 90 分）		

教科書	看護学概論:デジタルナーシング
参考書	看護倫理:医学書院、看護者の基本的責務:日本看護協会出版会、看護に活かす基準・指針・ガイドライン集2018:日本看護協会出版会
参考URLなど	
その他	